

## 一箕・松長地区みんなで作る地区ごとコーナー ～みんなの取組 今まで・これから～

### 【みんなでやってきた成果】

- ・いきいき百歳体操、地域サロンを始め、「ふれあい昼食会」や「ふれあいレクリエーション大会」といった地区独自の取組も行われた。
- ・除雪ボランティア、ラジオ体操、町内会での広報紙などの取組が行われた。
- ・地域内の連携によって、買い物バスが運行された。

### 【わたしたちのスローガン】【地区の目指す姿】

とにかくやってみよう！地区のみんなをきずなでつなごう！

	現状や課題	これからやっていくこと
1 高齢者自身	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人暮らし、高齢者世帯が増加、車を手放し買い物に不便を感じている人が多い。移動販売も最近は来ない。目で見て欲しいものを選ぶことも大切。</li> <li>・孤独死で発見されるケースがあった。</li> <li>・地域サロンや行事に行かない、行けない理由として、行くための手段がない、行っても誰も知らないという声がある。</li> <li>・地域で支えることも大切だが、家族の協力も大切。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような状況においても日常生活をこれまでと同じように送ることができる地域づくり。（買い物、通院、除雪、ゴミ出しなど）</li> <li>・孤独死を防ぐ。高齢者のみ世帯の安否確認を町内で取り組む（回覧板等の手渡し、町内行事の欠席者の確認等）</li> <li>・サロンや行事に行くための手段を考える。</li> <li>・スマホやパソコンを利用している高齢者が増えていることから、SNSで情報を発信し、地域の住民に関心を持ってもらう。</li> </ul>
2 地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の行事が、区長や役員が高齢化（後継者の不足）や、住民の協力も得にくいなどの理由により、縮小している。</li> <li>・老人会加入者の減少、解散。子供会の縮小。</li> <li>・昔から住んでいる人と新しく転入してきた人の連携をとる必要がある。</li> <li>・身近な場所でのサロン開催も求められており、場所が必要である。</li> </ul> <p>→各団体が協力しあい、みんなで取組めば何かできるのではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のニーズを把握し、対象の方へ支援の情報発信をしていく。</li> <li>・地域の利用できる情報（買い物支援など）整理して一覧を作る。</li> <li>・地域全体で連携し、各種団体連絡協議会を立ち上げる。</li> <li>・地区内の各種団体の連携体制づくりを行い、地区社協も視野に住民主体で協議会で地域のことを考えていく。</li> <li>・老人クラブ、子ども会の活性化を図る。</li> <li>・地域の敬老会のあり方を検討する。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症がすぐには収束しないことを前提に、工夫して地域活動を継続する。</li> </ul>
3 災害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハザードマップで危険個所となっている地域もあるが、危機感が共有されていない。</li> <li>・除雪が不十分であったり、排雪場所に雪が山積みになって見通しが悪くなっていることがある。川への排雪は下流で水があふれる原因となることがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織の取組、高齢者や障がい者の避難方法の確認、町内会単位の避難訓練等が必要。</li> </ul>